

**現在の景気：**県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、百貨店の販売も底堅く推移している。製造業では、海外需要の鈍さなどから生産活動の足踏みが続いている。この間、建設需要は、住宅着工に建設コスト上昇等の影響がみられるが、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に、総じて底堅く推移している。

**3か月程度の見通し：**非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。製造業では、海外需要の鈍さの影響が続くとみられる。

**個人消費：**①上向き。②4月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、気温上昇を受けて帽子や日傘など初夏アイテムが好調だったものの、前年4月がコロナ5類移行直前で主力衣料品売上の水準が比較的高かったことや値上げが続く食料品が前年を下回ったことから、全体では、前年同月比1.8%減と6か月ぶりに前年を下回った（19年同月比では10.2%減）。5月は、夏物衣料品の動きが活発化した模様。4月の自動車登録台数は、同8.8%減と4か月連続で前年を下回った（19年比では9.9%減）。軽自動車（前年同月比15.5%減）、一般乗用車（同6.0%減）ともに減少した。

**住宅建築：**①一進一退。②4月の新設住宅着工戸数は前年同月比41.4%増加し、3か月ぶりに前年を上回った。分譲（同92.1%増）、貸家（同25.9%増）、持家（同3.0%増）、いずれも増加した。

**設備投資：**①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、4月の工事床面積は前年度比2.1%増加し、工事予算額は同93.8%増加した。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）による県内企業186社アンケート調査（3～4月実施）では、24年度の期初設備投資計画額は、23年度比1.9%増となっている。

**公共工事：**①増加基調。②4月の県内公共工事請負額は、前年同月比36.5%増加した。国（同51.6%減）は減少したが、独立行政法人等（同301.5%増）、市町村（同27.3%増）、県（同21.2%増）が増加した。

**輸出：**①持ち直し。②4月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比15.3%増と6か月連続で増加した。成田空港は、半導体等製造装置（同51.0%増）やIC（同39.0%増）などが増加し、同10.8%増と5か月連続で前年を上回った。千葉港は、石油製品（同424.4%増）やコンデンサー（同2,591.1%増）などの増加により、同2.1倍と8か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同21.1%増）や粗鉱物（同29.6%増）などが増加し、同16.6%増と2か月ぶりに前年を上回った。

**生産活動：**①弱含み。②3月の県産工業生産指数（季調済、2020年=100.0）は、101.7（前月比2.5%上昇）と2か月連続で上昇した。鉄鋼業（同6.7%低下）などは低下したものの、石油・石炭製品工業（同14.8%上昇）や化学工業（同7.3%上昇）などが上昇した。

**観光：**①拡大。②県内の観光・宿泊施設では、好調な入込が続いている。新型コロナウイルスの5類移行後初めて迎えたゴールデンウィークは各地でにぎわいがみられた。JR東日本によると、4月26日～5月6日における主要駅の乗降客数は、舞浜駅で前年比5%増の49万9千人、大型音楽フェス「JAPAN JAM」が開催された蘇我駅で同17%増の21万9千人となった。また、NEXCO東日本によると、同期間における東京湾アクアラインの平均通行量は、同8%増の60,000台/日だった。

**雇用情勢：**①足踏み。②4月の有効求人倍率（季調値）は、前月比0.02ポイント上昇の0.97倍となり、4か月ぶりに改善した。有効求職者数が減少する一方（同0.8%減）、有効求人数が増加した（同1.3%増）。

### 【トピックス】

- 斉藤鉄夫国土交通相が北千葉道路の工事状況の視察に訪れた（11日）。場所はII期区間（成田市押畑～大山）の「（仮称）土屋橋」付近で、知事や沿線7市の市長らも同行し、状況の説明とともに早期の全線開通の必要性を訴えた。これらを踏まえたうえで、交通相は「国際競争力強化のために、早く完成させなければならない」との認識を示した。
- 千葉県は、県産農林水産物の輸出を促進するため、「千葉県農林水産物輸出活性化取組方針」を策定した（23日）。台湾やマレーシアなど輸出のターゲットとなる国・地域や輸出ポテンシャルのある品目を定め、生産・流通・販売の各段階における支援の方向性を整理し、「稼げる農林水産物の実現」に取り組むとしている。
- JR東日本千葉支社は、今年3月のダイヤ改正で縮小したJR京葉線の快速本数について、9月1日より、通勤時間帯を中心に、上下あわせて平日7本、土休日12本の快速を復活させることを公表した（30日）。